

2026年度 数学科シラバス

教科	数学科	科目	数学Ⅱ	単位数	2	学年	3
学科 ・ コース	普通科 特進コース						
教科書	新編 数学Ⅱ（数研出版）		副教材	チャート式解法と演習 数学Ⅱ+B（数研出版） 4STEP 数学Ⅱ+B（数研出版）			
科目の概要	いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについて理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培う。 また、問題解決の過程を振り返って自らを評価・改善できる力を身に付ける。 大学入試に対応できる基礎力を身に付ける。 状況に合わせて受験問題集等を利用し、これまでの知識の定着を図る。			評価の観点	基本的な知識やその法則を理解し、数学的に表現・処理をする技能の習得ができているか。（知識・技能） 数の範囲や式の性質に着目し考察をする力、図形・グラフがどのような関数で表され、どのような特徴をもつのかに着目し数学的に考察する力、問題解決の過程や結果から統合的・発展的に考察する力を養う。（思考力・判断力・表現力） 数学的な活動を通じて粘り強く学習に取り組んでいるか。（主体的な態度）		
				評価方法	定期考査や小テストなどから知識・技能を、課題プリントや提出物、グループワークなどから思考力・判断力・表現力を、授業態度や提出物の提出状況、取り組みから主体的に学習に取り組む態度を評価する。 またそれらを総合的に評価する。		
	授業内容	1学期 ・指数関数と対数関数 指数関数、対数関数 ・微分法と積分法 微分係数と導関数、導関数の応用、積分法 2学期 問題演習 3学期 問題演習			学習方法	分からない事はすぐに質問し解決する。 授業で習ったことをその日のうちに復習する。 学習した範囲を、問題集や参考書の問題を何度も解くことで確認する。 その他についても積極的に行動する。	
				備考	なし		

2026年度 数学科シラバス

教科	数学科	科目	数学Ⅱ	単位数	2	学年	3
学科・コース	普通科 総合キャリアコース、看護医療進学コース、英語コース、幼児教育コース、スポーツコース、音楽コース						
教科書	新編 数学Ⅱ（数研出版）		副教材	3TRIAL 数学Ⅱ（数研出版）			
科目の概要	「指数関数」「対数関数」「微分」「積分」における基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を習得する。 数学的な活動を通して、数学的な見方や考え方を身につけ、事象の考察に活用、処理する力を養う。 また、高校数学の知識を用いた演習をする。			評価の観点	基本的な知識やその法則を理解し、数学的に表現・処理したりする技能の習得ができているか。（知識・技能） 数の範囲や式の性質に着目し考察する力、図形について方程式を用いて表現したり、関数関係に着目しその特徴を数学的に考察する力、問題解決の過程や結果から統合的・発展的に考察する力を養う。（思考力・判断力・表現力） 数学的な活動を通じて粘り強く学習に取り組んでいるか。（主体的な態度）		
				評価方法	定期考査や小テストなどから知識・技能を、課題プリントや提出物、グループワークなどから思考力・判断力・表現力を、授業態度や提出物の提出状況、取り組みから主体的に学習に取り組む態度を評価する。 またそれらを総合的に評価する。		
	授業内容	1 学期 ・ 指数関数・対数関数 2 学期 ・ 導関数とその計算 ・ 積分法（不定積分まで） 3 学期 ・ 積分法（定積分）			学習方法	定期的に宿題プリントが配布されるので、それを用いて復習する。 3TRIAL の基本問題を解くことで、学習した範囲の理解が深まるので必ず問題を解く。	
				備考	なし		

2026年度 数学科シラバス

教科	数学科	科目	数学Ⅲ	単位数	4	学年	3
学科 ・ コース	普通科 特進コース（理系）						
教科書	新編 数学Ⅲ（数研出版）	副教材	チャート式解法と演習 数学Ⅲ+C（数研出版） 4STEP 数学Ⅲ+C（数研出版）				
科目 の 概 要	極限、微分法及び積分法について、原理や法則を体系的に理解するとともに数学的に表現・処理する技能を身に付ける。 問題解決の過程を振り返って考察を深める。 入試問題を中心に大学入試に向けた授業を実施する。 状況に合わせて受験問題集等を利用し、これまでの知識の定着を図る。			評価の観点	基本的な知識やその法則を理解し、数学的に表現・処理をする技能の習得ができているか。（知識・技能） 関数への理解をより明確にし、その特徴を数学的に考察する力、問題解決の過程や結果から統合的・発展的に考察する力を養う。（思考力・判断力・表現力） 数学的な活動を通じて粘り強く学習に取り組んでいるか。（主体的な態度）		
				評価方法	定期考査や小テストなどから知識・技能を、課題プリントや提出物、グループワークなどから思考力・判断力・表現力を、授業態度や提出物の提出状況から主体的に学習に取り組む態度を評価する。 またそれらを総合的に評価する。		
授業内容	1 学期 - 関数 - 極限 数列の極限、関数の極限 2 学期 - 微分法 導関数、いろいろな関数の導関数 - 微分法の応用 導関数の応用、速度と近似式 - 積分法 不定積分、定積分 - 積分法の応用 3 学期 大学入試対策			学習方法	分からない事はすぐに質問し解決する。 授業で習ったことをその日のうちに復習する。 学習した範囲を、問題集や参考書の問題を何度も解くことで確認する。 その他についても積極的に行動する。		
				備考	なし		

2026年度 数学科シラバス

教科	数学科	科目	数学C	単位数	2	学年	3
学科 ・ コース	普通科 特進コース（理系）						
教科書	新編 数学C（数研出版）	副教材	チャート式解法と演習 数学Ⅲ+C（数研出版） 4STEP 数学Ⅲ+C（数研出版）				
科目の概要	ベクトルや複素数平面について、原理や法則を体系的に理解するとともに数学的に表現・処理する技能を身に付ける。また、曲線を表す式の成り立ちや特徴を十分に理解し活用する。 問題解決の過程を振り返って考察を深める。入試問題を中心に大学入試に向けた授業を実施する。 状況に合わせて受験問題集等を利用し、これまでの知識の定着を図る。			評価の観点	基本的な知識やその法則を理解し、数学的に表現・処理したりする技能の習得ができているか。（知識・技能） ベクトルのもつ意味や活用の方法を整理して理解し、その特徴を数学的に考察する力、問題解決の過程や結果から統合的・発展的に考察する力を養う。（思考力・判断力・表現力） 数学的な活動を通じて粘り強く学習に取り組んでいるか。（主体的な態度）		
				評価方法	定期考査や小テストなどから知識・技能を、課題プリントや提出物、グループワークなどから思考力・判断力・表現力を、授業態度や提出物の提出状況から主体的に学習に取り組む態度を評価する。 またそれらを総合的に評価する。		
				学習方法	分からない事はすぐに質問し解決する。 授業で習ったことをその日のうちに復習する。 学習した範囲を、問題集や参考書の問題を何度も解くことで確認する。 その他についても積極的に行動する。		
授業内容	1学期 ・平面上のベクトル 平面上のベクトルとその演算、ベクトルと平面図形 ・空間ベクトル			備考	なし		
	2学期 ・複素数平面 ・式と曲線 2次曲線、曲線の媒介変数表示 3学期 問題演習、入試問題対策						

2026年度 数学科シラバス

教科	数学科	科目	(学) 数学特講	単位数	2	学年	3
学科 ・ コース	普通科 特進コース (文系)						
教科書	4STEP 数学Ⅰ+A (数研出版)	副教材	・チャート式解法と演習 数学Ⅰ+A (数研出版) ・ニュースタダード数学演習Ⅰ・A+Ⅱ・B 受験編 (数研出版)				
科目の概要	大学入試問題に対応できるよう問題演習を中心に行う。 各単元の基礎的な解法や公式について、その都度確認をする。 多くの問題に触れ、自ら解き進める力を養う。			評価の観点	基本的な知識やその法則を理解し、数学的に表現・処理をする技能の習得ができているか。(知識・技能) どの單元においても、それらがもつ性質・特徴をもつのか再度着目し数学的に考察する力、問題解決の過程や結果から統合的・発展的に考察する力を深く養う。(思考力・判断力・表現力) 数学的な活動を通じて粘り強く学習に取り組んでいるか。(主体的な態度)		
				評価方法	定期考査や小テストなどから知識、技能を、課題プリントや提出物などから思考力、判断力、表現力を、授業態度や提出物の提出状況から主体的に学習に取り組む態度を評価する。 またそれらを総合的に評価する。		
				学習方法	分からない事はすぐに質問し解決する。 授業で習ったことをその日のうちに復習する。 学習した範囲を問題集や参考書の問題を何度も解くことで確認する。 その他についても積極的に行動する。		
授業内容	1 学期 ・数と式 ・関数と方程式・不等式 ・図形と計量 2 学期 ・図形と計量 ・場合の数・確率 ・図形の性質 3 学期 ・データの分析			備考	希望進路によっては、私立大学入試対策、2次試験対策も行う。		

2026年度 数学科シラバス

教科	数学科	科目	(学) 看護数学	単位数	3	学年	3
学科 ・ コース	普通科 看護医療進学コース						
教科書	新編 数学Ⅰ (数研出版) 新編 数学A (数研出版)	副教材	クリアー 数学Ⅰ + A (数研出版)				
科目の概要	看護医療系の大学・専門学校への受験を予定しているコースのための科目である。 数学Ⅰ・Aの範囲で受験校の難易度に合わせた問題演習を行う。 看護医療系の希望進路は、短期大学や専門学校から難関4年制大学まで様々であり、すべての入試に対応できるよう基礎・基本事項から入試レベルまで幅広い問題を取り扱っていく。	評価の観点	基本的な知識やその法則を理解し、数学的に表現・処理をする技能の習得ができているか。(知識・技能) どの単位においても、それらがもつ性質・特徴をもつのか再度着目し数学的に考察する力、問題解決の過程や結果から統一的・発展的に考察する力を深く養う。(思考力・判断力・表現力) 数学的な活動を通じて粘り強く学習に取り組んでいるか。(主体的な態度)				
			定期検査や小テストなどから知識・技能を、課題プリントや提出物、グループワークなどから思考力・判断力・表現力を、授業態度や提出物の提出状況、取り組みから主体的に学習に取り組む態度を評価する。 またそれらを総合的に評価する。				
授業内容	3単位を曜日ごとに数Ⅰ・数A・入試問題対策とわけ、早期受験の生徒も復習できるよう全ての分野からランダムでプリントを配布する。 数Ⅰ・数Aでは復習をきちんと行いながら、基礎・基本問題も含めて高いレベルの演習問題も繰り返し取り組む。 入試問題対策では過去問を中心に4年制大学、短期大学、専門学校と各難易度に応じて出題する。	学習方法	授業で習ったことをその日のうちにノートや問題集で復習をする。 理解できなかった内容はそのままにせず、すぐに質問をして理解をする。				
			なし				
		備考					